(2019.4改正)

**＜別紙１＞**

**第三者評価結果報告書**

①第三者評価機関名

|  |
| --- |
| ソキウスコンサルテーションズ株式会社 |

②施設・事業所情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 名称：依知保育園 | | 種別：保育所（認可保育所） | |
| 代表者氏名：早川知子 園長 | | 定員（利用人数）：　120（9２）　名 | |
| 所在地：243-0804　神奈川県厚木市関口390 | | | |
| TEL：046-245-0531 | | | |
| ホームページ：https://wakabakai.hp.gogo.jp | | | |
| 【施設・事業所の概要】 | | | |
| 開設年月日　昭和３７年１０月 | | | |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人若葉会 | | | |
| 職員数 | 常勤職員：　　　　　　　13名 | | 非常勤職員：　　　10名 |
| 専門職員 | （専門職の名称）　　　　　名 | | 専門職員 |
|  | |  |
|  | |  |
| 施設・設備の概要 | （居室数）保育室（6） 休憩室（1） 事務室（医務室含む）（1）  調理室（1） 沐浴室（1） 調乳室（1） | | |
| （設備等）冷暖房、固定遊具、プール、避難用スロープ、ステージ  　　　　　AED、防犯ブザー | | |

③理念・基本方針

|  |
| --- |
| <保育理念>  子どもは豊かに伸びていく可能性を秘めている。その子どもが現在を最もよく生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培う。  <保育理念>  ・健康で明るい子ども  ・よくあそべる子ども  ・心のやさしい子ども  <保育方針>  ・自他の生命を尊重し、自ら安全に行動できる能力を身につける。  ・心身ともに健康で忍耐力のある身体を作る。  ・自然や社会を愛し、友達を大切にし思いやりのある豊かな心を育てる。  ・人とのかかわりの中で、自主、協調の態度を養い、何事も最後までやり遂げる態度を養う。  ・様々な体験を通して、言葉への興味や関心を育て、創造性、道徳性の芽生えを培う。 |

④施設・事業所の特徴的な取組

|  |
| --- |
| 依知保育園は、小田急本厚木駅から北にバスで約30分、厚相バイパス通り沿いにある保育園ですが、一歩入ると広い畑が広がり、晴れた日には大山が見えるなど、自然に恵まれた環境にあります。周りには高い建物もなく日当たりが良い園庭で、子どもたちは伸び伸びと外遊びを楽しんでいます。近隣には畑や公園がたくさんあり、季節の移り変わりを肌で感じることができます。  一年を通してはだし保育、乾布摩擦、体操を行い健康増進に努めています。４・５歳児は英語に親しみを持てるように、専門講師による英語教室を導入し、職員と共に楽しみながら学んでいます。  絵本との触れ合いを大切に考えており、日々の保育の中で、0歳児から5歳児まで年齢に応じて、毎日１～２冊の本の読み聞かせを行っています。絵本の貸し出しも行っており子どもたちが自由に絵本を選べるように、廊下に本棚を設置し、いつでも借りることができるように配慮しています。家庭へ持ち帰ることもでき、親子で絵本を楽しんでいます。  園舎老朽化に伴い建て替えを検討しています。またその計画の一環として、園児の危険防止や利便性向上に向けて、昨年度からトイレを中心に改修工事等を行っています。 |

⑤第三者評価の受審状況

|  |  |
| --- | --- |
| 評価実施期間 | 令和３年８月１日（契約日）　～  令和４年３月９日（評価結果確定日） |
| 受審回数（前回の受審時期） | 初回（　　　　年度） |

⑥総評

|  |
| --- |
| ◇特に評価の高い点  1）子どもの主体性を尊重した保育を行い、さまざまな体験をしています  子どもの保育目標が発達に合わせ０歳児から５歳児まで立てられており、それに基づいて保育を行っています。０歳児から自分でやってみようとする意欲を大切にしているため自然と基本的な生活習慣が身に付き、自分でできることは意欲的に行っています。行事なども職員主体で進めるのではなく、子どもの意見を取り入れながら進めているので、興味を持って楽しんで行っています。広々とした園庭では泥んこ遊びを職員と一緒に行なったりしています。近隣の農家さんの畑では野菜の苗植えや収穫、麦ふみなどの体験をさせて頂いています。収穫した野菜は給食で提供し食育に繋げています。５歳児は、ぞう組のクラス名に因んだエレフェスというお祭りを行い、染め物体験をしたり、クッキングを行い夕食で食べたり、花火を行ったりしています。  2）自然環境を生かした伸びやかな保育を行っています  環境については、園の周辺は自然豊かで、子どもたちは散歩を兼ねた戸外活動に出かけ、多くの自然の中で五感を刺激し、豊かな感性を養うと共に地域の方々と触れ合う機会も作っています。公園は、南公園、北公園、大六天神社、長坂日枝神社、山際神社、水辺の公園などがあり、恵まれた自然環境を生かし、子どもたちは伸び伸びと遊び、その体験の中から多くのことを学んでいます。  3）保護者とのコミュニケーションを大切にしています  園は保護者が安心して子育てができるように、保護者とのコミュニケーションを大切にしています。朝夕の送迎時には、全職員がそれぞれの立場で声をかけ、保護者とのコミュニケーションをとっています。子育てなどの相談があった際は、保護者の話しを時間をかけてよく聞き、丁寧に対応し保護者が安心して子育てができるよう配慮しています。  ４）余裕のある人員配置により、ゆとりを持って保育理念に沿った保育を行っています。  保育理念に沿って、子ども達には自由に体験ができるように、小さい時から自分で判断できるようになってほしい、将来困らないように友だちとの接し方を学んでいってほしいという思いが感じられる保育を行っています。市が定める人員配置より、ゆとりある配置となっており、保育士も気持ちに余裕を持って、保育理念の実現や子どもの成長に合わせた保育を取り入れることができています。  ◇改善を求められる点  １）マニュアル等の整備＞  従来から、情報共有などは文書によらず話し合いや伝達などを基本としてきたため、業務の標準化のためのマニュアル等に整備されてないものがあります。今後、必要なマニュアルの整備により、園の基本姿勢、手順や注意事項などを明文化するとともに、職員間の情報共有を図るなど、体制が整備されることを期待します。  ２）サービスの質の向上への組織的・計画的な取組〉  毎年、保護者アンケートを取るなど保護者の意見を把握し、職員会議で積極的に対策を検討しています。今後は、職員参画のもとで、改善計画を策定し、その進捗や結果を定期的に評価して共有し、次の対策につなげる組織的・計画的な取組にすることを期待します。 |

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

|  |
| --- |
| 初めて第三者評価を受審しました。受審したことで、日頃の保育活動を振り返り、自園の良いところ等を再認識でき、また外部評価が可視化されることにより、園の特色や改善が必要なところがはっきりとしました。改善すべき点については、これから職員間での話し合い等をすすめ、一つ一つ検討し改善に向けて取り組んでいきたいと思います。そしてこれからも園児、保護者の気持ちに寄り添いながら皆が毎日楽しく過ごせるように、園全体で質の向上に向けて励んでいこうと思います。 |

⑧第三者評価結果

　　別紙２のとおり